

授業科目名	社会的養護 I	担当教員名	青木 正博
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 地方公務員として長年児童福祉に関わる行政に携わってきた。これらの経験を、授業に役立てている。
授業の概要及び全体目標	第二次大戦以後の経済の発展、それに伴う核家族化の進行、都市人口の集中といったものが家庭・家族に大きな影響を与えている。個々の家庭の業種力が弱体化したことにより「社会的養護」= 社会で養護を支援していくことが必要となっている。この鶴ような歴史の変遷を理解しながら、今日の社会的養護の意味を探り、そこで求められる人材における学習すべきことを習得する。		
到達目標	(1)現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (2)子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4)社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5)社会的養護の現状と課題について理解する。		
テキスト	児童育成協会監修、相澤 仁・林 浩康編集、新・基本保育シリーズ6『社会的養護 I』第2版(中央法規出版,2023)		
参考書・参考資料等	各回の授業において適宜紹介します。		
成績評価の方法	授業への参加・貢献の程度40%、チェックシートの提出と内容30%、意欲30%		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方等ガイダンス 第1講 社会的養護の理念と概念	(1)	
第2回	第2講 社会的養護の歴史の変遷	(1)	
第3回	第3講 子どもの人権擁護と社会的養護	(2)	
第4回	第4講 社会的養護の基本原則	(3)	
第5回	第5講 社会的養護における保育士等の倫理と責務	(3),(4)	
第6回	第6講 社会的養護の制度と法体系	(3),(4)	
第7回	第7講 社会的養護のしくみと実施体系	(3),(4)	
第8回	第8講 社会的養護とファミリー・ソーシャルワーク	(3),(4)	
第9回	第9講 社会的養護の対象と支援の在り方	(3),(4)	
第10回	第10講 家庭養護と施設養護	(3),(4)	
第11回	第11講 社会的養護にかかる専門職	(3),(4)	
第12回	第12講 社会的養護に関する社会的状況	(5)	
第13回	第13講 施設等の運営管理の現状と課題	(5)	
第14回	第14講 被措置児童等の現状と課題	(5)	
第15回	全体のまとめ		